

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 15 日 (2021.4.15)

【公表番号】特表 2020-508689 (P2020-508689A)

【公表日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【年通号数】公開・登録公報 2020-012

【出願番号】特願 2019-548025 (P2019-548025)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/071 (2010.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/6844 (2018.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

G 0 1 N 1/04 (2006.01)

C 1 2 M 1/26 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/071

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 Q 1/6844 Z

G 0 1 N 33/50 Q

G 0 1 N 33/569 A

G 0 1 N 33/569 B

G 0 1 N 33/569 G

G 0 1 N 1/04 V

G 0 1 N 1/04 G

C 1 2 M 1/26

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 1 日 (2021.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象の皮膚から生体物質を収集するための非侵襲的な方法のための、粘着テープを含むキットであって、前記方法は、

(a) 標的皮膚部位からの生体物質の第 1 のセットが粘着テープの第 1 のセットに接着できるように、対象の前記標的皮膚部位を前記粘着テープの前記第 1 のセットの各々と順々に接触させることと、

(b) (a) の後に、標的皮膚部位からの生体物質の第 2 のセットが粘着テープの第 2 のセットに接着できるように、前記対象の同じ標的皮膚部位を前記粘着テープの前記第 2 のセットの各々と順々に接触させることと、を含み、
前記第 1 のセットおよび前記第 2 のセットの前記粘着テープの各々が、基材へ結合した水溶性接着層を含む、非侵襲的な方法である、キット。

【請求項 2】

(c) (b) の後に、標的皮膚部位からの生体物質の第 3 のセットが粘着テープの第 3 のセットに接着できるように、前記対象の同じ標的皮膚部位を前記粘着テープの前記第 3

のセットの各々と順々に接触させることをさらに含み、前記第 3 のセットの前記粘着テープの各々が、基材へ結合した水溶性接着層を含む、請求項 1 に記載のキット。

【請求項 3】

前記粘着テープの前記第 1 のセット、前記粘着テープの前記第 2 のセット、および／または前記粘着テープの前記第 3 のセットが、2～5 個のテープを各々含む、請求項 1 または 2 に記載のキット。

【請求項 4】

前記基材が水溶性基材である、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 5】

前記水溶性基材がセルロースを含む、請求項 4 に記載のキット。

【請求項 6】

前記水溶性接着層が水溶性ポリマーを含む、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 7】

前記水溶性ポリマーが水溶性アクリルポリマーを含む、請求項 6 に記載のキット。

【請求項 8】

前記第 1 のセット、前記第 2 のセット、および前記第 3 のセットの前記粘着テープが同じテープである、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 9】

前記対象が、アトピー性皮膚炎に罹患しているヒト対象である、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 10】

前記対象が未成年または成人である、請求項 9 に記載のキット。

【請求項 11】

前記標的部位が病変部位である、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 12】

前記標的部位が非病変部位である、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 13】

前記生体物質の前記第 1 のセットが、前記対象の角質層からの生体物質を含む、請求項 1～12 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 14】

前記生体物質の前記第 1 のセットにおける微生物生体物質の存在を判定することをさらに含む、請求項 13 に記載のキット。

【請求項 15】

前記判定するステップが、細菌、ウイルス、および／または真菌からの生体物質の存在を分析することを含む、請求項 14 に記載のキット。

【請求項 16】

前記生体物質が、細胞、ポリペプチド、核酸、脂質、小分子、またはこれらの組み合わせを含む、請求項 15 に記載のキット。

【請求項 17】

前記判定するステップが、前記生体物質の前記第 1 のセットから単離された微生物細胞を培養することを含む、請求項 16 に記載のキット。

【請求項 18】

前記判定するステップが、前記生体物質の前記第 1 のセットからの微生物核酸を増幅させることと、増幅した前記核酸を分析することを含む、請求項 16 に記載のキット。

【請求項 19】

前記生体物質の前記第 2 のセットおよび／または前記生体物質の前記第 3 のセットが、前記対象の角質層の下の表皮層からの生体物質を含む、請求項 1～18 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 20】

前記生体物質の前記第 2 のセットおよび／または前記第 3 のセットからの宿主生体物質の存在を判定することをさらに含む、請求項 19 に記載のキット。

【請求項 21】

前記判定するステップが、ケラチノサイトからの生体物質の存在を分析することを含む、請求項 20 に記載のキット。

【請求項 22】

前記生体物質が、細胞、ポリペプチド、核酸、脂質、小分子、またはこれらの組み合わせを含む、請求項 20 または請求項 21 に記載のキット。

【請求項 23】

前記判定するステップが、前記生体物質の前記第 2 のセットおよび／または第 3 のセットにおける宿主核酸を増幅させることと、増幅した前記核酸を分析することを含む、請求項 20～22 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 24】

前記生体物質の前記第 1 のセット、第 2 のセット、および／または第 3 のセットからの脂質を分析することをさらに含む、請求項 1～23 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 25】

前記接触させるステップ（b）が、前記接触させるステップ（a）の直後に実施される、請求項 1 に記載のキット。

【請求項 26】

前記接触させるステップ（c）が前記接触させるステップ（b）の直後に実施される、請求項 2 に記載のキット。

【請求項 27】

対象の標的皮膚部位の生体物質特性を判定するための方法であって、

（a1）対象の標的皮膚部位からの生体物質の第 1 のセットを含む、粘着テープの第 1 のセットを提供することと、

（a2）前記生体物質の前記第 1 のセットのからの少なくとも 1 種類の微生物生体物質の存在を分析することと、

（b1）前記対象の前記標的皮膚部位からの生体物質の第 2 のセットを含む、粘着テープの第 2 のセットを提供することであって、前記生体物質の前記第 2 のセットが、前記生体物質の前記第 1 のセットの収集後に収集される、提供することと、

（b2）前記生体物質の前記第 2 のセットからの少なくとも 1 種類の宿主生体物質の存在を分析することと、を含み、
前記第 1 のセットおよび前記第 2 のセットの前記粘着テープの各々が、基材へ結合した水溶性接着層を含む、方法。

【請求項 28】

（c1）前記対象の前記標的皮膚部位からの前記生体物質の第 3 のセットを含む、前記粘着テープの第 3 のセットを提供することであって、前記生体物質の前記第 3 のセットが、前記生体物質の前記第 2 のセットの収集後に収集される、提供することと、

（c2）前記生体物質の前記第 3 のセットからの少なくとも 1 種類の宿主生体物質の存在を分析することであって、前記第 3 のセットの前記粘着テープの各々が、基材へ結合した水溶性接着層を含む、分析することと、をさらに含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

対象の皮膚容態を評価するためのキットであって、

（a）水溶性テープへ接着した生体物質を抽出するための 1 種類以上の試薬と、

（b）微生物生体物質および／または宿主生体物質の存在を判定するための 1 種類以上の検出薬と、を含む、キット。